

日本（教科書）

書き下し・現代語訳（上野訳）

偶 因 狂 疾 成 殊 類

偶 狂 疾 に 因 り て 殊 類 と 成 る

偶然の出来事から、精神を病んで獣となってしまった

災 患 相 仍 不 可 逃

災 患 相 仍 り て 逃 が る べ か ら ず

災難が重なって（不幸な運命から）逃れることができない

今 日 爪 牙 誰 敢 敵

今 日 の 爪 牙 誰 か 敢 て 敵 せ ん

（虎の身となった）今日では誰がこの鋭い爪や牙に敵として向かってくるだろうか

当 時 声 跡 共 相 高

当 時 の 声 跡 共 に 相 高 し

（思えば）昔は君も私も、互いに秀才として評判が高かった

我 為 異 物 蓬 茅 下

我 は 異 物 と 為 る 蓬 茅 の 下

今の私は獣となって、雑草の中で暮らす身である

君 已 乘 輶 氣 勢 豪

君 は 已 に 輶 に 乗 り て 氣 勢 豪 な り

君はもはや（立派に出世して）車に乗るような地位に上り、気力が盛んである

此 夕 溪 山 对 明 月

此 の 夕 べ 溪 山 明 月 に 対 し て

この暮れの下、山や谷を照らす明月に向き合って

不 成 長 嘯 但 成 嗥

長 嘯 を 成 さ ず し て 但 だ 嗥 を 成 す

（自分の胸の中の悲しみを）詩に歌おうとしても、それは歌にならず、ただ虎の叫び声にしかならない

簡体字（中国の正字）

繁体字（簡体字以前の漢字）

拼音（中国式ローマ字）

偶 因 狂 疾 成 殊 类

偶 因 狂 疾 成 殊 類

ǒu yīn kuáng jí chéng shū lài

灾 患 相 仍 不 可 逃

灾 患 相 仍 不 可 逃

zāi huàn xiāng réng bù kě táo

今 日 爪 牙 谁 敢 敌

今 日 爪 牙 谁 敢 敌

jīn rì zhǎo yá shéi gǎn dí

当 时 声 迹 共 相 高

当 时 声 迹 共 相 高

dāng shí shēng jì gòng xiāng gāo

我 为 异 物 蓬 茅 下

我 为 异 物 蓬 茅 下

wǒ wéi yì wù péng máo xià

君 已 乘 輶 气 势 豪

君 已 乘 輶 气 势 豪

jūn yǐ chéng yáo qì shì háo

此 夕 溪 山 对 明 月

此 夕 溪 山 对 明 月

cǐ xī xiān shān duì míng yuè

不 成 长 嘯 但 成 嗥

不 成 长 嘯 但 成 嗥

bù chéng cháng xiào dàn chéng háo

※口内の漢字は中国の漢字。繁体字は現在も台湾等で使われている。

※中国の漢字の読み仮名にあたる。

偶	偶然、たまたま
因	①原因、「事出有因」事が起こるのは原因がある。「因果」原因と結果。②……のため、……という原因のため：口頭語の〔为〕に同。③原因する。
狂	①精神障害(①)。「狂人①」精神障害者。↓「迷」ミ、ひどく(く) 激しい(しく)〔狂言 yan〕〔狂hua〕でたらめ。〔狂喜 x i〕狂喜(する)〔狂吹 chu i〕(風が)ひどく吹く。〔水流得狂〕水の流れが激しい。
疾	(1)病、病氣。(2)苦しみ。(3)憎む。
成	「成」+目的語の形で「…になる」「…となる」。
殊类	×異類。
灾患	災害
相	①互(じ)に、ともに。「互」ミ相互(じ)に「相好的」親しい友だち。「相忌」互(じ)に忌みあう。「相持不下」互(じ)に譲りあつて譲らない。双方(じ)らみあつて。「不相上下」大した差はない。似たりよつたり。「情意相投」意気投合する。「相主」かかわりあつて。「言行相符」言行が一致する。
仍	〔副詞〕〈書〉依然として、いまなお、やはり、相変わらず。
不可	①……することができない。不可能だ。↓「不可多得」②……してはいけない。……するを許さない。↓「不可倒放」
逃	①逃げ去る。「潜」qian 逃(ひ)そかに逃げる。②避ける。逃げ隠れる。
今日	(1)きょう、本日。(2)今日(こんにち)、現在。
爪牙	①禽獣の爪や牙、武勇の臣に例える。②「傭」手下、悪党の手先。
谁	〔疑問代詞〕(1)だれ、どなた。(2)〔不定の人をさす〕だれか。
敢	〔助動詞〕(1)あえて(思い切つて、大胆に)…する、…する勇氣がある。〔副詞〕〈方〉恐らく、たぶん、ことによるともちや…ではあるまい。
敌	(1)敵。(2)敵。(3)敵対する、対抗する、抵抗する、防ぎ止める。(4)対等である、匹敵する。
当时	当時、そのとき、そのころ。
声	(1)声、音、音、物音。(2)〔書詞〕音程を出す回数。(3)声を出す、言明する、公に述べる。(4)各戸訃判【注意】声、は日本語の「声」よりも使用範囲が広く音全体をさすことができる。
迹	(1)跡、痕跡。(2)(先人の残した)遺跡、遺物、現存する過去の事物。(3)行動、態度。
共	(1)共通の、共有の。(2)共にする。(3)〔副詞〕共に、いっしょに。「共相」gongxiang × 共通の姿、共通の点。
高	(1)(高さが)高い。(2)高い。(4)(品質・能力・程度などが一般よりも)すぐれている、一定の水準を超えている。(5)(等級が)高い。
我	〔人称代詞〕(1)話し手が自分のことをさす「私、ぼく、おれ」。(2)わが、うちの、当。
为	〔为〕(1)なす、する、行う。(2)…とする、…とみなす。(3)(変化して)…になる、…に変わる。(4)…である。(5)(…よりも)…だ。【2】〔介詞〕〈書〉れる、られる、…される。
异物	(1)〈医〉異物。(2)〈書〉死骸、幽霊。(3)〈書〉珍しい物。

蓬 (1)〈種〉ヨモギ、イカリヨモギ。(2)ほろほろたる、乱れている。(3)〔量詞〕枝葉のよく茂った草花などを数える。

茅 (1)〈種〉チガヤ。【補足】日茅báimáo、しも。

下 方位詞、下、下の方。

君 ①君主、皇帝、国王。②×諸侯、卿大夫などの封号。③×子が父を称していう。④×人に対する尊称。⑤×あなた、妻が夫を称する場合も用いられる。

已 (1)やむ、終わる、停止する。〔副詞〕すでに、もはや。(3)〈書〉その後、しばらくすると。(4)〈書〉あまりにも。

乘 (1)乗る。(2)〔介詞〕…に乗じて、…につけこんで、…を利用して。

轺 古代の官吏兼用の軽馬車。【轺車】〈古〉軽便な車の一種。

氣勢 (人)や事物の表面に表れた勢い、力、氣勢。

豪 (1)才能や力量が人並みすぐれた人。(2)太く腹で小事にたわらぬ、豪快である。(3)言と権勢があること。(4)権勢もある。

此 (1)〔反義〕彼(ǐ)これ、この。(2)このとき、こゝ。【注意】此、は書き言葉または改まった言ひ方。(3)このものである。

夕 (1)〔反義〕朝(zhāo)夕ぐ、夕方。(2)夜。

溪 (古くはqí)谷川、(広く)小川。

山 (1)山。

對 1…に当たる、…に対する、…対…である。2〔対蹠の形で〕…に回ける、…に攻める、…を合わせる、くつごける。4適合する、ぴったりする。5照らし合わせる、突き合わせる、調整する。8量詞：二つでひとつ組のもの。9介詞：…に(回るごと)、…に(対して)、…についで。

明 【1】(1)〔反義〕暗(àn)明る、明るく輝く。(2)明らかである、明白である。(3)せひせりせきる、明らかにする。(4)わかる、わかまえる。(5)〔反義〕暗(àn)おき出しである、あからさまである、あけつひろけである。(6)目など、目が利く、洞察力がある。(7)視覚。(8)公明正大である、心じやまじらうところがない。(9)〔副詞〕だしかに、はっきり。【2】明けたの(年、日)、明る(年、日)。【3】(1)〈五〉明(みん)【補足】1368-1644年、朱元璋が建てた国。

月 (1)〈天体の〉月、月球。【補足】量詞は、月辰yuèliang、という。(2)〈時間の単位の〉月。(3)〈曆の上の月順を表す〉月。(4)毎月、月、月、月。(5)月の形をしたまるい。

不成 (1)いけない、だめだ、役に立たない。(2)〔助詞〕…とても言うのがまさか…ではあるまい。

长啸 ①大声で叫ぶ。②口をさぼめて声を出す、うそろく。

但 (1)〔副詞〕ただ、だけ、ばかり。【補足】書き言葉で用いられる。(2)〔接続詞〕…(だ)が、しかし、ただし、ところが。【補足】話し言葉では量詞、但、を用いる。

成 1成し遂げる、成就(する)、成果。2〔成+目的語の形で〕…になる、…となる。3(承諾)よろしい。4〔動詞+(得、不、十)成の形で〕完成する、仕上がる、…にする、…となる。5量詞：1割、10分の1。

嗥 ①野獣のほえる声。②泣き叫ぶ。

【補足】

不 1副詞：(単独で用いる)いいえ、いえ、いや。2副詞：(動詞、形容詞などの否定)…しない、…ではない。3助詞：動詞と補語の間に用い、不可能を表す。(反義)得(é)